

上野國志

群馬郡



共拾五本
百五十二

庫文閣内		
七四函	九二八七	和
一九架	一五冊	書
		類

和	
庫文閣内	
番號	和 9287
冊數	15 (15)
函號	174 221
一五冊架	



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



文教

上野國志

群馬郡

和名抄曰

留東郡

東西二郡府中向國府

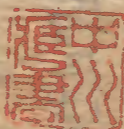
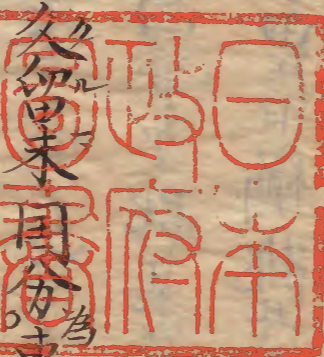
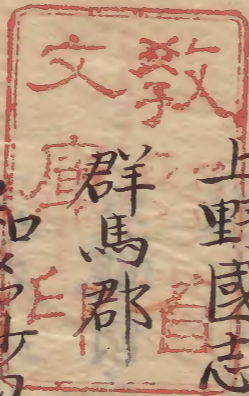
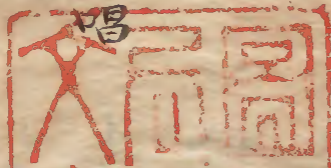
今按東西二郡ノ境界不詳但ニ利根川郡ノ中ヲ流ル

河東ノ數十村アリモヲ東郡トスルカ故府ノ趾モ詳

其ノ近所ナリ國分寺在ニルニ或ハ謂ラク國分

八國府ノ訛ナルニト非ナリ餘國ニ國府ノ名遺ルルモ

縣名 和名抄曰 長野 奈加井出 小野 八木



上郊加無佐土畔切安木利島名志萬奈群馬

桃井乃丹有馬安利萬 馭家 白衣

今按長野ハ箕輪ノ邊ナリ長野氏居処ヲ氏

トセニ在ヘシ井出ハ今枕村名遺シリ八木ハ今大

八木小八木ノ邊ナレシ上郊畔切ハ不詳島名

ハ瀧村ノ西ニアリ郡馬ハ国府ノ地ナルニ桃井ハ

今ノ山子田ナト猶桃井庄ト称ス有馬ハ伊香

保ノ北ニ有馬村アリ利刈驛家ハ不詳白衣ハ



白井ナルヘシ郡中ニ伊香保名所ナレバ縣名ニ

不載此ニ依テ之ヲ見レハ伊香山ハ山ノ名ナレヘシ

今村落佰捌什陸村租入拾壹萬仟參佰陸

什陸石伍斗陸合

上室田村上柴村矢原村明屋村アキヤ東西ニケ村

ト云 廣馬場村 松野沢村 善地村ヨシチ

留岡村 和田村 下柴村 白川村
本郷村 高濱村 神戸村 三子沢村
宮沢村 白岩村
伊香保村 温泉アリ

湯上村 判田村 野良大村 足馬村

青梨村 中村

三野倉村 中室田村

嶋野村 或嶋各村作

箱田村 京目村 祖母嶋村 吾妻へ越ル開アリ

白井村 吹屋村 中郷村

上白井村 牧村 横堀村

小野子村 中山村中山峠村ハ山上アリ 上尻高村シツタカ 下尻高村

已上吾妻川ノ北ナリ

大久保村 權田村ケンタ

宿横手村 中嶋村 綿貫村 栗崎村

柴崎村 知中村 倉加野町

下佐野村 上佐野村

和田田中村 下和田村 新後閑村シゴカ

下堀村 下中居村 上中居村 岩押村

高関村 江木村 南大類村 宿大類村

在昔大類氏アリ武藏ノ児玉堂ノ流ナリ 矢嶋村 上大類村

貝沢村 井野村 新保田村ホ 新保村

西嶋村 萩原村 大澤村 川井村

稻荷新田村トウカ 下新田村 上新田村 小相木村

内藤分村 大友村 古市村 江田村 日高村

正願寺村 中尾村 小八木村 大八木村

中泉村 濱尻村 飯塚村 下小鳥村

上并榎村 下并榎村

宗長法師カ東国紀行ニ並榎ノ別當シテ色カヘ
又松ハ暮行秋モナシ其日九月尽ナレヘ神名月
一日ニ成リ又發句。神名月里ヤフリニ花ノ
春此別當俗姓長野石上ナリト云々今按ニ並榎

別當ト云々今ノ護国寺カ又此地ニ無量壽寺院極樂

寺ト云々寺アリシト云其趾河原ニナリテアリ護国

寺境内カレリ又此村ニ城跡アリ

赤坂村 高崎町ナリ

筑縄村 下小鼻村 我嶺村 西新波村

南新波村 菊池村 樂間村

濱川村 宗長法師東国紀行濱川ト云所ニ松田

加賀守法躰シテ宗繁此十年餘リ以来知音
 シ侍リシ八九年先宗祇北路ヨリ相伴シ信濃
 路ヨリ例ナラス身ナリシ此宿所ニテサ日及ヒ
 逗留懇切而已今ニ忘カクキ事ナルヘ一兩日逗
 留アリテ重陽具行アリ今朝幾重新綿白
 キ宿ノ菊折節宗繁新造ナリ且此比立寄
 ヘキナト兼テ音信ニヤト見ヘ侍ハ聊其心モアル

ヘシ

北新波村	<small>キヤウリキ</small> 行カ村	<small>ホドタ</small> 保渡田村	<small>コトリ</small> 上小鳥村
<small>フヒダラ</small> 生原村	<small>カナシキ</small> 金敷平村	<small>イテ</small> 井出村	<small>アシノド</small> 足門村
<small>ミツラフ</small> 三寺村	<small>ムコタカ</small> 棟高村	<small>スガヤ</small> 菅谷村	<small>カ子コ</small> 金古村
池端村	漆原村	柏木村	新井村
山子田村	古ノ桃井ナリ此村西ニ船尾山ト云岩		
山アリフ子フサト云大ナル山ナリ柳沢寺在古コニ在			

シト云礎基往々アリ九十九谿アリト云飛泉アリ
魔所ニテ人登ルコト不得

下村 長岡村 上野田村 下野田村 小倉村

有間村

八木原村 阿久津村

澁川村 町ナリ 石原村

金井村 牧村 モウシ 吾妻川ノ北ナリ

川嶋村 湯中子村 ユナカゲ

稲荷臺村 トウカクタイ 元總社村 鳥羽村 トリバ

塚田村 北原村 西国分村 コクブン 東国府村

引間村 大屋鋪村 野馬塚村

總社町 植野村 高井村 河原嶋村 カハラシマ

青梨村

齋田村 與六分村 宇貫村 上八幡原村

下八幡原村 中齋田村 岩鼻村 板井村

上瀧村 下瀧村 瀧新田村 下大類村

中大類村

利根川東

天川村 天川原村 無人家 前代田村

市坪村 実正ノ港アリ 紅雲分村 柿宮村アリ

宗甫分村 公田村ノ内ナリ 六供村 朝倉村

佐鳥村 サトリ 勝嶋村 ヌテシニ 勝 ヌテト讀ム 己僻字アリ字

書ニアルナシ 按勝軍木ヌルテト讀ム今勝軍

木ノ三字ヲ中畧シテ合ニスルデノ三音ヲ中略シテヌテ

ト訓ス

公田村 ツデン 宿阿内村 竜門村 矢嶋村 寺家村

後閑村 宮地村 徳丸村 房丸村

力丸村

新堀村

四ヶ村ニ分ル

横手村

阿内村

神社

榛名山

滿行大權現ト云

延喜式曰群馬郡椿名神社

神社本紀曰背野國秦名神祠高丘宮天

皇時元湯彦大神至這國鎮坐先是ト云檀

原宮天皇時與ウニシニテ父神美真道大神伏夷

賊亦戰大力之惡神咸殺之咸伏之依之
此神至勝軍道

大成經皇孫本紀曰无湯彥命者真道見命

子母石長媛命葛城高丘宮御宇天皇時

元為足尾也次為申食國政大夫奉齋

大神俱父命神前征東夷至尾張國戰

猛力雄神此神力至強常食以神兒對

元湯彥神競戈相鬪猛力雄神遂屈服請

服赦之尚擊于至參河國伏隱食彥鬼尚

至科野國殺綠長祗鬼還上佐萬機壽

百十万七千五百八十五歲登瀨山刺

山而入双槻宮御宇天皇之御代出毛上

國秦名山峯形人神名云滿行權現

謹按神史元湯彥命者天照太神五代之孫

也天照皇太神 天忍穗御水尊 饒速日尊
熟義真味命 元湯 廢命 物部之遠祖也
十卷旧事本紀 天孫本紀 廢湯 并命 亦名 村形 足尾 上 元湯 廢
命 同神 一リ

圭田山中方三里

別當岩殿寺滿行院 天台宗東叡山兼帶
社壇八盤石 一作掛テアリ 其巖宮ノ上 蓋フ
社ノ四邊 奇石怪岩重疊環峙テ 實ニ仙境
ト云ヘシ 其宮上ヲ 蓋フ高岩ヲ 御安ト云
本地堂勝軍地藏 東西堂
攝社九十九所 三重塔

境地

覺滿窟行道窟行者谷護摩壇洞弘法大師

形修護摩處當時日天嶽月天嶽影向鈴今犹存焉

石神馬蹄石ウレヒ天狗腰掛石宮社旁不許入

往醫王閣左役行者殿右大山府君中

袖摺巖神社一行路

萬年泉碑銘アリ

榛名山萬年泉銘并序

上野有榛名山層嶂重巒險阻而盤回西北

嶺口空注為一泓池濶數十畝池之左路通信

州置一大山乎山有祠廟奉祀元由度命

宇摩志麻治命之子相神武綏靖後入山之

窟隱去乃其薨矣其窟窈冥淺深莫測焉用

明時始架楹於前即今廟堂也相距十二四

步許路左出檻泉焉涌自巖竇雖旱潦弗
溢弗涸名曰萬年泉綠崖空牙為洞為沉古木
上蔭自佳致凡州人禱雨之泉所挹盛諸杓
旋則亨于里中社輒有微應其賽報以返之
云亦一奇也山多勝旣泉居其中固將有待
是記歲庚申三月祝氏佐藤芳元請_下勒于
石_余因而銘諸厥辭曰山以榛名泉以年靈

維地之寧于歟于生何其蒙也自幽宮也。
在坎中也無不通也發源咸甬沸流注不竭。
迺茲斟酌雨暘時若豈獨肥泉雲木則
仙云胡然億萬斯年兮。元文五年庚申
六月上巳日長崎平君舒撰

牛神石

嵩間 切通大黑嶽 龜石 瓶子岩 馬神岩
鎧岳 藥師嶽 葛籠岩

社東河の中アリ

○鐘原嶽
カチハラ
坐禪石

山伏嶽 觀音嶽 弥陀嶽

天狗嶽 御服石

社前

大石ナリ指以推
セハ搖ク

獅子巖 雷電嶽 大神

嶽 聖嶽

鞞掛石

石梁ナリ 金剛院ノ
前ノ洞ニアリ

旗箭嶽 地藏峠

東通 箕輪 小阪嶽 地藏峠
ノツキ

晨小屋嶽 神名嶽

トシラツクニ 鳥頭三瀨嶽 蝙蝠窟

種綱嶽

西方

胡伏鬼嶽

數百嶽 神祖

魂嶽 山神嶽

三瀨 沃竜口 七尋石 南方 遊行嶺 又名高天原
此所御旅所

九月九日 神輿此ニ
出御

一華表

其前ヲ牛王坂ト云昔ハ
牛王堂アリテ參詣人

牛王頂

一ノ華表ヨリ 二王門ニテ 四十八町

社ヨリ北方

杖神峠 太平嶽 就鳥巢嶽 耳岩

○劔峯

天神峠

信州ノ道ニヨリ分ル
天神ヲ此東ノ山嶺ニ祭ル

不動窟

沼ト社トノ中
同岩窟ノ

内ニ不動ノ鑄像アリ何人ノ造ナルヤ不知今ハ社ノ旁ニ移
ニ安置シ別ニ木像ヲ窟中ニ置ク

御手洗

社ヨリ十八町北ニ和歌ニ所謂伊香沼ナリ

古歌ホ下ノ名所ノ内ニ抄出ス
此湖上ノ諸山コニ記ス

石垣山 巖垣山 湖

上アリ万葉所謂石垣沼岩垣沼
并伊香保沼ノ異名ナリ此ニテ
硯嶽 富士

岳 小富士ト云山上浅間ノ祀アリ
六月一日人參詣ス
總魔嶽 所

ナリ人登リテ不得
一名里髪山
二嶽相並フ
共ニ高山ナリ
影宿櫛

鳥帽子岳 榛 氷室 登屋 神櫛

兩思岩 當山ノ入口ニツアリ吾妻ノ箕輪ノ室田ノ

龍躰院墓 湖南ニテリ石碑ニ龍躰院自山
貞性大姉旁ニ木部村トアリ

相傳ノ昔菴木部村ノ城主木部彈正ト云人ノ室
コニ遊テ湖水ニ入テ竜トナリト云今ニ至テ岩

殿寺ニ於テ六月朔日竜躰ノ為ニ施食ノ法ヲ修ス其
年代ハ詳ナラス

コノ山往古ハ繁昌ノ地ニシテ三千百坊アリ座主快忠
快尊探題中納言法印前大僧正頼印ナトイヘル
名アル人管領トシテ此ホ建保ノ比ヨリ貞治應安
ノ比ニテノ事ナリ其後イツレノ比カ當山ノ衆徒ホ哉

ニ打負テ鎌倉ニ逃シ去リテヨリ真言宗ノ持トナリ
シニ慶長十九年九月朔日一山衆評シテ慈眼大
師ニ奉リテ大師ヨリ山中ノ掟ヲ定給テ永ク天台
宗トナレリ

子院 中坊 金剛院 滿徳院 實相院 千乘院
墓所 極樂院ト云

坊百餘坊

寶物 神跡石 太神ノ足痕アル石ナリ

無名寶石 ニアリ霹靂礎ナリ俗ニ云雷
槌ノ郡皆戸村ノ落ツハツレヨリ四五年ヲ経テ箕
輪ノ郷ノセシト云所ニ墜ツ并ニ當社ニ納ム

兒持^{コチ}神社 兒持山ニ坐ス兒持山ハ白井郷ノ北

神社本紀曰金橋宮天皇時安閑天皇般石筒女大

神鎮坐

圭田貳拾石 白井^中郷 別當大乘院修本山

甲波宿禰神社

川嶋村坐

金井村ノ牧村ノ際

續日本後紀承和十三年八月辛巳奉授上野

國群馬郡甲波宿禰神從五位下

文德實錄嘉祥三年十二月庚戌詔以上野

國甲波宿禰神列官社

三代實錄貞觀十一年十二月廿五日授從五位

後上甲波宿禰神正五位下同十八年夏四月十

日丁酉授正五位下甲波宿禰神正五位上

前貞觀九年六月廿日丁亥授上野國從五位下

甲波宿禰神從五位上

元慶四年五月廿五日戊寅授正五位下甲波

宿禰神從四位下

延喜式曰群馬郡甲波宿禰神社

伊香保神社

伊香保山ニ坐ス今温泉浴室

アハ繁華ノ地ナリ往古公有馬村ニ属ス

續日本紀承和二年九月辛未以上野国群鳥

郡伊賀保神社禰之名神同六年六月甲申

奉授上野国无位伊賀神從五位下

三代實錄貞觀九年六月廿日丁亥授上野

国從五位上伊賀保神正五位下同十一年十二月

廿五日戌申授正五位上同十八年四月十日丁

酉授從四位下

元慶四年五月廿五日授從四位上

倭論語伊加保大明神託宣云我國ノ直キ心ヲ

人ノ国ニ明カタル徳ト名ツケテ佛トイヒリ益

人ヨ正シク直カレ心ヲ苦メラ總テ知ルコトナシ

此託宣蓋有所出嗟乎倭論語駁雜之書玉混賦
硤統之者須識別焉

稻荷社 上小鼻村ニリ

圭田拾陸石伍斗 神主山田宮良 今八和泉ト云首ニ
武田氏ノ上列ナリ

領ニシ時ハ二百貫ノ神領ヲ寄セシトナリ

若伊賀保神社 不詳所在

貞觀五年十月七日丙寅授上野国正六位

上若伊賀保神從五位下

元慶三年閏十月四日庚寅授從五位下若

伊賀保神從五位上

元慶四年十月十四日甲午授上野国正五位下

伊賀保神正五位上 并三代實錄今按元慶四年
ノ神階恐有誤字伊賀

保神今年五月既授從四位上依此考之ハ伊賀保ノ上ニ若ノ字ヲ脱スルナラシ然レモ又若伊賀保神去年十月從五位上ヲ授ラルコト正五位下ト云是亦不審何レシテモ謬アルヘシ

私按国史所謂伊賀保ハ今云榛名ニ

テ若伊賀保ハ今ノ伊賀保ノ社ナルヘシ今

榛名ノ湖水モ古ハ伊賀保沼ト云伊賀保ノ

地名ハ此邊榛名山ヲカケテ都テ伊賀保

山ト古ハ云ヘルナルベシ

^{川東}前橋八幡宮 前橋東南坊中ニアリ舊記云

在原業平苗裔業重朝臣之子孫奉祀焉至

永禄年中遇兵起之禍元龟元年北條下總

守同二年北條丹後守高廣天正九年平岩七

之助同年氏直各後照之印於守僧神宮寺

呈神田 前橋凡土記見タリ天正九年ノ下疑誤字アリ

圭田拾伍石 ^{天川原九石} 代田村六石 別當神宮寺 ^{天台宗} ナリ ^下 見

天和中城主忠明寄菜圃宝物長刀長

尺五寸銘藤原清平白鷹画狩野探幽猿玉大加雞卵紫

滑澤不可名狀各万治神號一幅後陽成院

元年城主忠清奉納傍社諏訪社在木社天

方一尺神社在鐘樓在西

護國靈驗總社大明神 元總社村アリ安用天皇

甲寅年三月十五日鎮坐奈神般男筒雄命并上野国

中五百四十九社合祀本地弥勒菩薩慶長中二度回

祿然在五百四十九社ノ神名帳并正躰鏡不燒失

慶長十六年辛亥二月作ル社記アリコレ見タリ又此地ヲ

在昔ハ青木庄小見ノ郷ト云ヒト土人語シリ圭田廿陸石 神主赤石氏

牛頭天王社

柴崎村ニアリ

圭田卅石

天満宮

和田山村ニアリ

圭田廿陸石 別當極樂院 本山山伏

八幡宮

西明屋村ニアリ 兼輪アリ

圭田伍石壹斗 別當本明院 本山山伏ナリ

妙見神社

足間村ニアリ 別當妙見寺

圭田拾捌石伍斗 上古八国分村鎮坐何比也ヤ

回祿セシニ神躰ヲノル移リ玉ヲヨリ社ヲモコニ建テナリ

其後復宮殿焼失シテ神像モ見ヘ玉父焼灰ヲ掃

除^キ燼炭ノ中ニ秋芽青葱トシテ萌生セリ衆
人奇特想ヲナシ新薦ヲ以^テ包^ミテ己ヲ神座トス
ソレヨリ秋一根数莖更ニ増減スル^テ年々新薦
ヲ以^テ己ヲ包^ミ纏ヒ奉^リテ之ヲ名^クテ御着衣ト称ス
其舊薦ヲ取捨ス^ル上ニ新薦ヲ纏^フトイハ^レ己亦
重疊ス^ルトク此ヲ不増不減ノ神躰ト称^シ奉^ル

別當妙見寺上古七星山息災寺ト云^ヒト寺ノ縁起ニ見^タリ常陸
ノ国千葉ノ妙見寺ノ縁起ニ妙見大菩薩初ハ上州群馬郡花園ノ里ニ
鎮座^スト云^ヒ別當ヲ七星山息災寺ト云^ヒ其後同国平井ノ峯ヲ崎ニ遷
座^スト云^ヒ次ニ秩父ノ藤田其後秩父ノ大宮ニ遷坐^スニ^シクケルトアリ
上州ノ妙見寺ノ記ニ所ノ名ヲ花園ト云^ヒト云^フ支ハナケレ^ド七星山
息災寺ト云^ヒニ事アレハ花園ハ此地名ナル^ニ

寺院

金龍寺

上柴村ニアリ 禪宗牛久金竜寺

齋田六石壹斗

末寺ナリ

光徳寺

西明屋村^{アキヤ}ニアリ 卽箕輪ナリ

浄土宗

齋田漆斗壹升

法峯^ゲ寺

箕輪^アニアリ 天台宗ナリ 墨子^{クワゲ}ノキ

妙寺ノ末寺ナリ慈覚大師ノ開基ナリト云
齋田拾伍石壹斗

盤松寺 本明屋村ニリ禪宗ナリ此モ箕

輪ノ内ナリ

齋田拾貳石壹斗

石上寺 箕輪ノ本明屋村ニリ真言新

義ナリ箕輪城主長野氏ノ香火ノ地ナリ

齋田拾石 布留山ト号ス

瀧門寺 同所満行山ト云アリ曹洞宗ノ常會寺ニ

井伊直政箕輪城主ノ時建ル所ナリ下野ノ

富田大中寺ノ八世白菴秀閑ヲ同祖ト

ス 伊井彦ヨリ寺再興ノ時ハ金三百兩修復ノ時ハ

金伍拾兩ヲ貽ラレ

齋田伍拾石 直政ノ庵アリ正覺院殿傑山英大居士寛

永十八年十月二日卒

長純寺 留岡村ニリ曹洞宗ナリ

齋田廿陸石陸斗

龍澤寺 白川村ニリ禪宗

齋田廿伍石陸斗

長信寺 高濱村ニリ禪宗

齋田廿壹石陸斗

觀音堂 白岩寺アリ白山山長谷寺ト云

十一面觀音行基作長五尺餘 役行者豆州大出鳥在
セト時夜七層王三登リ
又御出嶽武甲ヲ徑テ

北越越キ此地ニ至リテ其地ノ高標ナレヲ見テ駭使ノニ免ヲメ利根川ノ水底ノ白尺大餘ナレヲ
持来ラシメ其上ニ禪坐ニ至テ十一面觀自在尊忽然ト其旁ニ現シテテ行者ノ所来ニ非スト独時持テテ
至ハ側ノ柳梢ニ移リテ又苦行三七日ヲ不動明王及八童子地ヨリ漏出ス此時行者志地ヲ得タリト
手親出現ニ尊
形ヲ摸彫シテ拜石ノ上ニ
安置ス是白岩権輪
後高嶋氏久天性寫
ニテ文武遠ニ郭テ三法ヲ
信ス然レテ西十二歳ノ厄難ヲ
怖レ時驗者ヲ祈シテ
一時元僧来ラ投寄ス立
人厄難ヲ免ニテ祈シテ
乞求ム僧ノ云易キニ御不知也此後行者 旧跡アリ彼地ニ株
薩戒行沙門行基ニ誌ス仍ラ知ト大士ノ化蓋ラ崇ルテテ行者ノ拜石ノ行者 後自ラ地中ニ沈ニ地鎮ナレ
高崎白其地ニ就テ堂ニ建テ彼尊像ニ安置ス其像大和泊瀬ノ像ヲ摸ニ故ニ長谷寺ト云

十五番田ナリ 古樹柿アリ是大悲者影向ノ冥木ナリ此ヲ以
十一面ノ像ヲ作りテト自ラ其寺身ヲ祈リ
五尺余ノ立像ヲ造リ且又一切疾病種々災
厄皆白得降滅ノ徑文ヲ證シテ尊ニ留別メ
自ラ高崎氏心豁然トシ信風明月ノ如ク旅
僧ヲ慕フ痛切ニシテ其名ヲ不問テテ憶ム
後御厨子ヲ徑宮ニ蓮座裏ニ見レニ昔昔

齋田廿参石伍斗

觀音堂 水澤村ニアリ五德山水澤寺ト云

千手觀音長二寸八分

開祖慧觀僧正 日本記推古天皇三十三年春正月高麗王貢ニ
僧慧觀仍名僧正

高麗
慧灌ノ開基寺ハ鹿嶋ノ根本寺ニ慧觀ノ開基ナリト本朝高僧傳ニ見タリ

坂東順禮三十三所ノ十六番田ナリ別當

觀音寺トモ云天台宗滋川真光寺未素

齋田廿伍石

源空寺

白井吹屋村アリ浄土宗ナリ

齋田伍拾石

双林園山月江正文品無極惠徹之々痛フ庵惠明々々融通幻宗灵正文用双林及遠州濱去極嚴
二一列 正伊実
月只勸請同出之
一列自居二世三世
曇英惠志四世
直公羽衣園正
五世天如全相
六 節田正志
在天字長

雙林寺

白井中郷アリ曹洞宗上野

信濃越後佐渡四箇國ノ僧録司ナリ

最大山ト號ス寶徳二年長尾左衛門尉

景仲入道昌賢力建ル所月江正文和尚ヲ同

山トス

齋田參什石

昌賢位牌アリ曰ク月澄院殿當寺開基

上州刺史白井城主正四品前拾遺長尾左

金吾入道俊叟昌賢庵主寛正四癸未年

四月二十六日

按昌賢上列ノ守護代ト云ニ刺
史ト称スヘカラス

八大真去隆

九奪州天与

十標芝永旭

十一自述玄悦

十二詠山東鎖

十三大通開徹

十四雲峯園悦

十五愚明祥察

空惠寺

寺

中白井

此地ヲ

長岑

云

臨瀨

宗

近江永源寺流ナリ

天靈山ト號ス

又

又

又

又

齋田拾捌石

境内ニ長尾氏代々ノ名牌アリ一ノ是ニ記ス

聖室大居士 鎌倉四郎大夫景村ナルニ

崇教大居士 存忠大居士

崇忠大居士

善忠大居士

円忠大居士 應永三十二己八月十四日

妙蘊大姉 永享四壬子二月二十九日

道真大居士 文安三丙子三月廿九日 景守

昌賢大居士 寛正三癸未八月二十日 景仲

玉泉大居士 文明五癸巳六月二十一日

伊玄大居士 永正十一甲戌八月廿四日 四郎左衛門 明景春

明岩大居士 大永七丁亥二月初五日

宜觀上座 文明十六甲辰二月十五日
長尾家老文野藤石衛門

真光寺 入滋川村

天台宗談林僧正寺ナリ

元和中第十七世ノ住持兼存リ權僧正

任セラル

長尾昌賢當寺ニ大六ノ彌陀ヲ安置シテ

念佛ヲ唱サシメ事長尾家譜見タリ

齋田伍什石

養報寺 倉加野村ニアリ真言宗

齋田廿貳石

九品寺 同所ニアリ浄土宗

齋田拾伍石

永泉寺 同所ニアリ曹洞宗

齋田拾貳石

大信寺 高崎町ニアリ浄土宗智恩寺ノ

末寺

當寺ニ駿河大納言忠長卿ノ御廟アリ

忠長卿公徳院殿第七ノ御子ニシテ

大猷院殿ノ御弟アリシカ不軌ノ御志ニ

シケルニヤ御勅氣ヲ蒙ラセシ信州諏

訪ニ配流ナラセラシニ途中ニ寛永十年十

二月六日御年二十八歳ニ此所ニ生宮ニ玉
ヒケルトウ御戒名峯巖院殿晴徹曉雲
ト申シ奉ル

齋田佰石下和田山村ナリ

延養寺 同所ナリ真言古義

齋田拾貳石下和田山村

石上寺 同所ナリ真言新義談林ナリ己

八箕輪ノ石上寺ヲ移セシ寺ナリ

齋田拾參石

惠^エ德^{トク}寺 同所ナリ曹洞宗ナリ

齋田拾伍石伍斗

長松寺 同所アリ曹洞宗ナリ

齋田拾石

玉典寺 同所アリ真言新義八幡村大聖

寺末寺ナリ

齋田拾貳石伍斗

六石伍斗在高崎六石在並榎村

大雲寺 同所アリ曹洞宗下秋間村桂昌寺

末寺ナリ

齋田拾伍石

安國寺 同所アリ浄土宗智恩院末寺ナリ

齋田拾貳石

梅松論ニ三條殿ハ六十六箇國ニ寺ヲ一宇マシテ建立シ各安國寺ト号シ同塔婆ヲ造立テ所願ヲ寄ラレト三條殿ハ源尊氏ノ直義ナリ此寺蓋シ其一放捨足利家寺ヲ禪宗ニ依テ諸國ノ安國寺多ク禪宗ナリ此何ノ時ヨリ淨土ニ成シヤ

與禪寺 高崎城内ニアリ曹洞宗後閑長

原寺ノ末寺ナリ

當寺ノ説ニ新田義貞ノ父氏光寧平一山

ヲ招請シ建立ス 按ニ氏光何人ソヤ不詳新田正

長子朝氏ニ男氏光朝氏嗣子ナリニテ氏光ヲ養子トス先テ卒ス依テ里見大炊女義忠ノ五男五郎

義貞ヲ養子トス小大郎ト名ヲ改ム脇屋義助ハ後ニ

出生スト此書新田郡ノ民間ニアリ真禪寺ノ傳説ト暗ニ合フ然レモ外ニ明抄ナシ又當寺新田義重

公ノ落髮ヲ埋シ地ナリト云テ義重林ト稱ス然レモ明證ナシ當寺ハ和田氏ノ寺ナリ當寺ノ卯塔

町ニアリ其内ニ和田七騎ト云ノ墓アリ碑石ニ階ニ及ノ紋アリ

中真文瑚和尚

齋田拾伍石 凡高崎ノ諸寺ハ赤坂村ノ

内ナリ真禪寺城中在レモ赤坂ニ屬ス

善龍寺

サホハラ

生原村ニアリ曹洞宗ナリ武田信玄ノ家

臣内藤修理カ所建ナリ

齋田廿伍石壹件

大木林院

コハナカ

上小島村ニアリ曹洞宗箕輪ノ金竜寺ノ

末寺ナリ新寺ナリ

齋田玖石

光明寺

里見村ニアリ天台宗榛名山岩殿

寺ノ兼帯ナリ

齋田拾伍石

慈願寺

宿大類村ニアリ曹洞宗ナリ

齋田拾貳石

眼聖寺

矢島村ニアリ真言宗

齋田拾肆石

安樂寺 上大類村アリ真言宗古義ナリ

旅厨田廿壹石

長松寺 漆原村アリ天台宗

齋田拾參石

光巖寺^{ガシ} 總社町アリ天台宗ナリ秋元山号

秋元越中守園基

為高岩院殿真月等法大師
建之

開山亮應

齋田參什石

德藏寺 元總社村アリ開山實海

齋田拾陸石 今ハ寺ナシ齋田ハ光巖寺

收納ス但寺中ハ小院三軒アリ光岩寺隸

元京寺 總社町アリ曹洞宗

秋元氏開基

齋田貳拾石

昌樂寺 元總社村アリ天台宗ナリ西林山

淨土院ト云傳教大師卓錫ノ地ナリト云フ

中興珍存弘安年中叡山ヨリ来テ再建ス

齋田拾肆石

釋迦尊寺 同所アリ曹洞宗

齋田拾肆石

護國寺 上并榎村ニアリ天台宗ナリ新比叡

山天龍護國寺ト云慈覺大師ノ開基ナリ

寺ノ額ハ小野道風ノ書所ナリ又運慶ノ作

ノ獅子ノ頭アリ甚々靈アリ

齋田貳拾石

満勝寺 南新波村アラナニアリ天台宗ナリ

齋田拾參石

徳昌寺 足門村ニアリ真言

齋田拾壹石壹斗

大乘寺 棟高村ニアリ真言新義ナリ八幡大

聖寺ノ末寺ナリ

齋田拾玖石捌斗

道真准后
後和足院
開白房嗣公
息

大藏坊

西国分村アリ本山伏斎田拾參石貳斗〇聖護院准后回國
雜記文明十八年上野国大藏坊ト云ハ山伏ノ坊ニテ日アリトニテ見
タリ

道真ノ

妙見寺

ヒキニ引間村ニアリ妙見宮ノ別當天台宗

タリ

光岩寺ノ末寺ナリ三鈷山吉祥院ト云

續日本紀靈龜八年八月己丑上野国群馬郡戸平烟義作国勝田郡平烟捨妙見寺蓋今ノ妙見寺カ

柳澤寺 山子田村ニアリ古ノ桃井卿ナリ

天台宗ナリ傳教大師承和年中ニ開キ玉フ

寺ナリフニウ船尾山ト云元ハフニウ船尾山ニアリ古ハ伽

藍ナリシトゾ礎石ナト猶残レリ山ハ山子田村

ノ西ニアリ岩山ナリ

慶長ノ比住持實然博覽宏才ニテ止觀玄

義ノ科本ヲ校合セリ今刊行ノ本是ナリ

齋田參什石

全透院 三倉村ニアリ

齋田貳拾伍石

長年寺 下室田村ニアリ常會ナリ

蓑輪城主長野信濃守業政ノ菩提

所ナリ

齋田伍拾石

同山曇英惠應一列正伊正伊双林同山惠應八双林第三世同當寺及越後林泉寺

川藏寺

尻高村ニツタカナリ

齋田貳拾石

慈眼寺 川西

瀧村ナリ真言宗古義ナリ花敷山

多樂院ト号ス法相宗良辨ラハ所立也良辨姓百

濟近江国志賀里人

後文中真言僧乘

弘主スリ寺時將軍尊氏命上叔倍其舊製

於是レ有傍院十有二講堂修法堂安像

堂先師像堂而今存

齋田三拾石 末寺八拾ヶ寺

川東
西光寺 作鳥村アリ天台宗

弘仁年中法相宗德一之所立也

德一大師ハ
篠波寺ノ

同祖ニシテ藤原豊成
ノ弟アリ 寺中設春日神社為鎮

守自元弘至應安天下大亂東西道絕

相宗之徒於是乎趾絕矣天台汝門村雄

守于寺自此為台徒

旅別田拾伍石

極樂寺

阿内村アリ天台宗長樂寺末寺アリ

本尊弥陀行基ノ所彫製相傳賴朝所

護持也境内賴朝ノ墓アリ

常菩提山号

或云慈覺大師ノ同基アリ
此地ヲ寺家村ト云

齋田參什伍石

善光寺

新堀村アリ相傳賴朝為常盤所

立也天台宗

齋田參什參石

神宮寺 天台宗壽延寺ノ末寺ナリ

元龜年中曰金蓮房天正中号最勝院

八幡宮ノ別當ナリ

養行寺 前橋ノ郭外十八郷ニアリ日蓮宗

ナリ慶長六年酒井重忠自三州移テ此

林中天神社アリ城中ヨリユニ移ス城中天

神山ハ相傳義經ノ妾静カ墓ナリ或他女ノ靜

ト云ル者ヲ葬ルガ古ノ石碑ト天神ノ社アリシヲ

コニ移シテ天神山ニ涼樓ヲ建シトナリ其天神

ノ像ハ片板尺計ナルニ畫テ半ハ朽蝨セリ是

墓中ヨリ出ル者ナリト云リ

長昌寺 前橋郭外南ニアリ拈笑派ノ大洞齋

長老ノ立ル所ナリ北條氏直滝川一益羽柴

孫四郎淺野彈正平岩七之助等制札及ヒ

寄附帖アリ

橋林寺 前橋郭外ノ東北ニアリ文明九年天

巽流玉岑和尚ノ所立也末寺二十ニ寺アリ

天正時代号高竹院又曰本橋院同十三年

改名橋林寺賢忠前橋城主長野彈正橋

城主天文二十二年大胡伊賀守字廣勝上泉赤尾對馬

守字廣能始号左等寄進狀アリ秀吉公及

氏直信長ノ制札アリ秀吉公命羽柴孫四郎淺野

札猪伎左衛門預之信長彈正少弼同之氏直之制什宝十六羅漢

之禁滝川左近傳之畫墨画觀音明兆

十六善神彩画臨濟像彩画春日神像

土佐達麻石像彩画仙人画彩画墨梅

趙子昂

雪軒觀音像 墨画三十三幅 銅鏡一枚 起禿

梵字銅瓶二箇

龍海院前橋郭外南半里

清康公之所立也其傳法源永平道元六葉大源九葉參州渥美郡大久保長興三世模外維俊和尚之遺跡也享祿三

年正月一日公夢握是字於左掌中命近臣周永其占於各處雖陰陽博士多聞強記之僧等遂不能曉得於此事者也于時模外和尚為岡崎城良偶大澤山龍溪寺之輪任馳盛使告其旨長老嘆曰聖夢吉不可曰是字分之則日下人也今握在聖手者藏天下於掌裏之占也如

今聖代不然則祥及後世子孫必保天下也
不可疑也 公歡喜尤甚自後愛模外
深信禪法號道模大居士 考龜陰寺年譜
作道甫大居士
一日公與模外微行到妙大寺村村
有半羊山有清淵名龜淵 公指地曰佳
境哉宜建梵刹謝祥夢之占矣就終土
木之功經營精舍號山於滿珠名寺於

龜海以模外為開山始祖也文武之餘日或入
寺門或請廣居參禪學道也於是 先
君歸依之靈場淨土門大樹寺主堯闕 イキナリ
而曰自先君以來世世歸淨土如今公亦
古舊信禪我豈堪寺哉即捨寺而走
公尋得干大濱命飯山僧俯承尊命再
住矣即日 時天文
元年 公命臣酒井與四郎曰

你當代吾而為菴海外護之齋主與四
郎謹承盛命就到菴海禪院而述公命
模外欣然是菴海齋主之始也自是而下
為酒井累代葬地之法窟至今僧徒為
群選佛場中心空及第而歸者不知幾
多酒井氏經歷三列西尾武州河越而來
前橋四遷封土此院亦隨之移貞享三年

城主忠明寄附洪鐘銘曰野之上州前橋南
阡大珠的鰲龍海之淵寺始是字山定
遊鞭飛來至此運步得舩對赤城岳
臨利根川分大源汎唱模外禪爐講
頻吹寶器新研擊偏中正聞正中偏
悅幽宣厄驚長夜眠鄉音共物應意
與金堅附阿難聽屬羅睺奉聲來

耳畔耳徃聲邊鯨千尋底華三月天
一鐘之德三機之緣臣思幾度君壽
永扇爾期好音不止驢年

壽延寺

柿宮村

元ハ前代田アリ柿宮村ハ
モト江雲八村ト云
カウウツレ

天台宗長樂寺ノ末寺ナリ赤城山大塔ノ別當

ナリ

國分寺

群馬郡有國分村之古國分寺ノ在地

蓋シ其寺焼スル久シ後人其地就ラ咸安寺ヲ建

國分山ト号ス天台宗ヲ高巖寺ノ末寺ナリ

今因諸國國分寺ノ由来ヲ明ス續日本紀天平十三
年二月乙巳詔宜令天下諸國各敬造七重塔區并

字金光明最勝王經妙法蓮華經各十部。朕又別擬字
金字金光明最勝王經每塔各置令三部。

又每国僧寺施封五十户水田十町。尼寺水田十町。僧寺必

令有二十僧。其名為金光明天護国之寺。尼寺。尼一

十。其名為法華滅罪寺。兩相去宜受教戒。

天平十九年十月己卯詔。其僧尼寺水田者除前入數

已外。更加田地僧寺九十町。尼寺四十町。

天平勝寶元年五月戊寅。上野碓氷郡人外從六位上右

上部君諸弟。献當国國分寺智識物。授外從五位

下。

天平勝寶元年七月乙巳。諸国國分金光明寺。寺別一

千町。諸国法華寺。寺別四百町。

同八歲六月乙酉。遣使於七道諸国。催檢所造國分丈

六佛像。

九田分寺毎国ニ寺アリ僧寺ヲ金光明四天護国ノ寺ト云尼寺
ヲ法華滅罪ノ寺ト云兩寺相去ルトイヘ共ニ国府ノ近
所ニアリ今當国ノ国分村上下ニ分テアリ共ニ必各僧尼ノ
寺ノ在ニ処ナルヘシ又按国史此時新タニ国分寺ヲ立タルハ
ニモ非ス其地ニモト有ニ寺ヲ国分寺トセシモセリ悉クハ
国史ヲ檢閱スヘシ

成然寺新橋

ニアリ一向宗本願寺二十四輩ノ一ナリ

開基成然房ハ下総国妙安寺ノ別宗ナリ 国至極倉國防
守徒封ノ時ニ

河越ニ移リ後又此地ニ移ル親鸞上人嘗テ親自肖像ヲ造リテ成然

ニ賜テ傳テ此寺ニアリ東本願寺與テ時台命ニ依テ其像ヲ京

都六條ニ請ス本多藤左衛門尉 嚴命ヲ奉テ護送ス慶長八
年正月三日真影入京スト云

